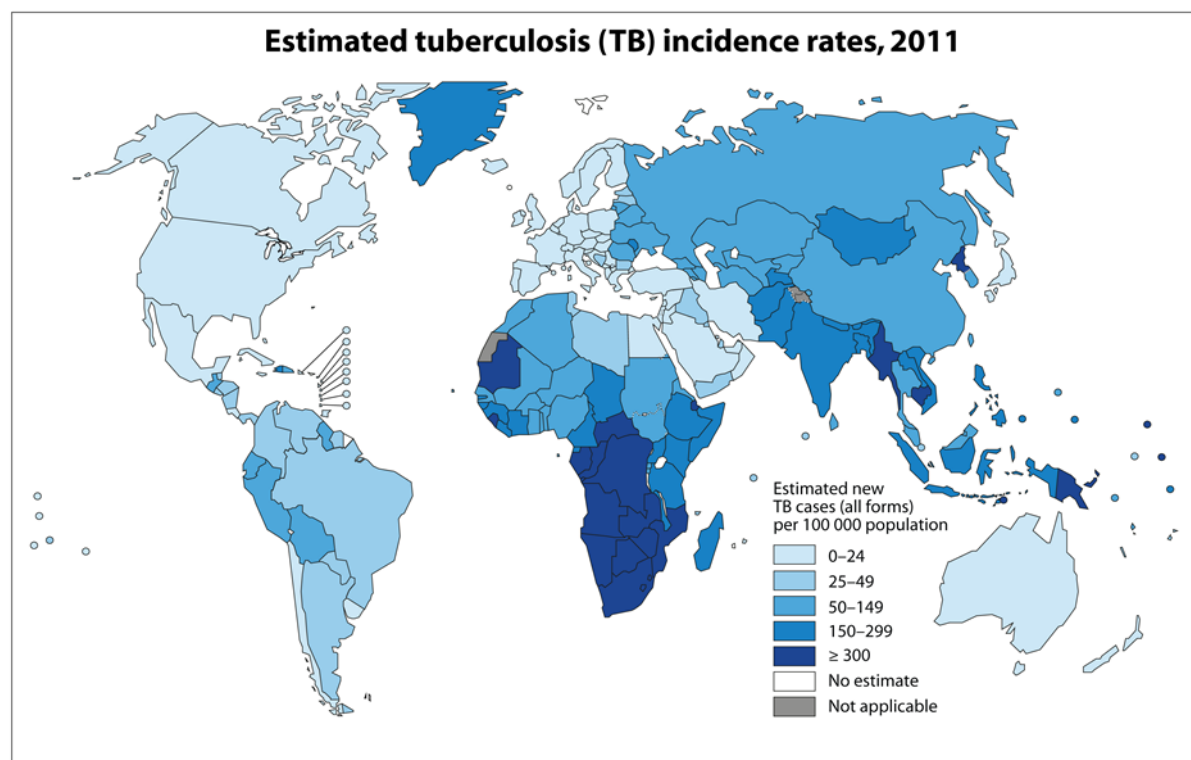


結核に注意しましょう

結核(Tuberculosis)は古い病気のように思っていないですか？今でも世界中で870万人が新規に結核を発病し、140万人が死亡しています(WHO,2011年)。その多くはアジア、アフリカ地域で発生しています。特にHIV感染者の多い地域はハイリスクです。



The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Source: Global Tuberculosis Report 2012. WHO, 2012.

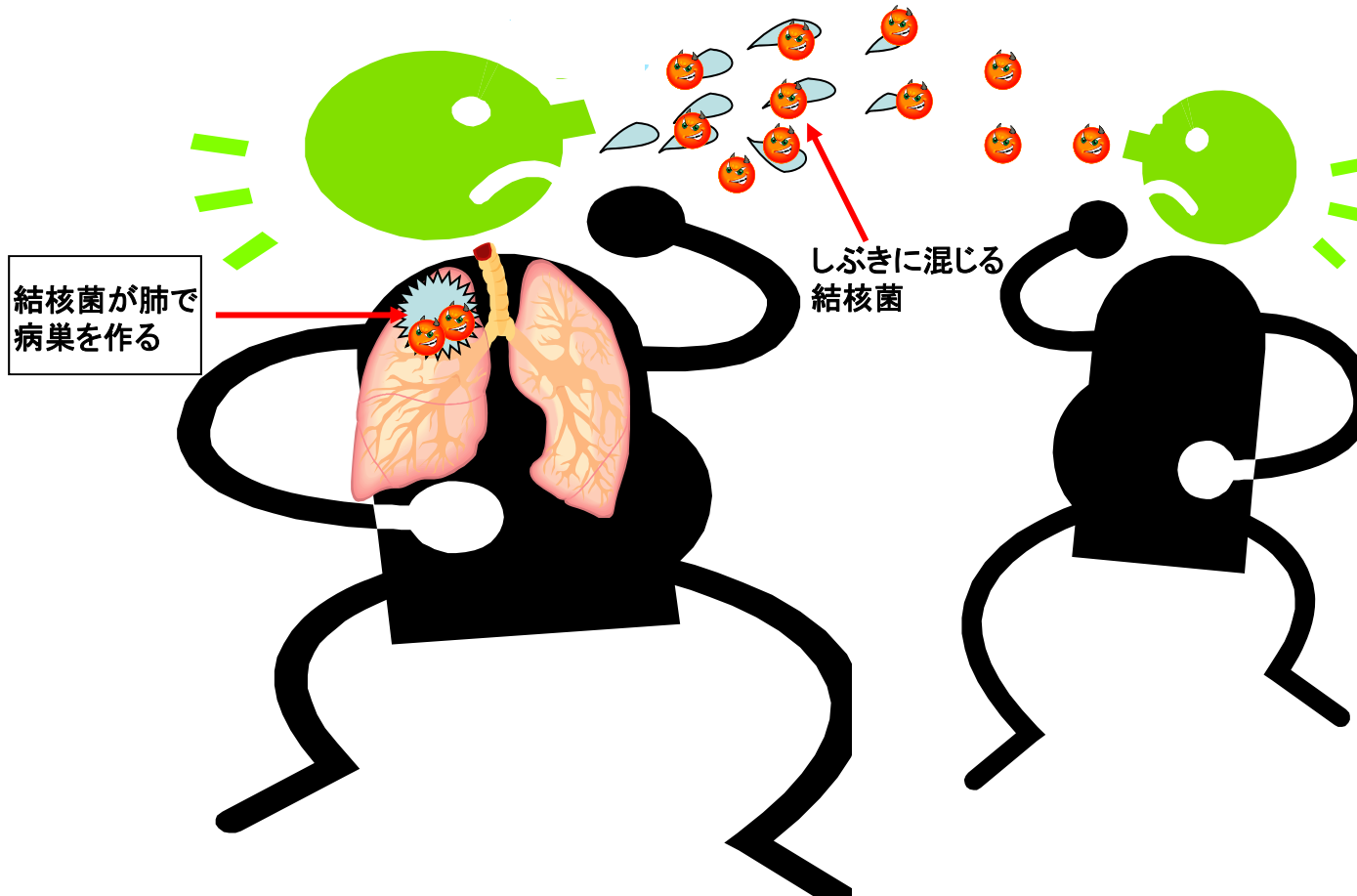


青色の濃い国に住む
人に結核の発病が多い
んだね…。



結核とは？

結核は結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核菌がせきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込む、または、しばらく空気中を漂っている結核菌を吸い込むことによってうつります。結核菌を吸い込んでも免疫の力により排除されるので、結核に感染しても、発病する確率は5～10%です。



結核の症状は？

無症状(も多い)

せき

たん

胸の痛み

喀血

寝汗

発熱(微熱のこともあり)

食欲不振

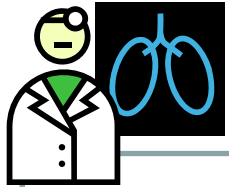
体重減少

倦怠感

肺結核の初期の症状は発熱やせきなど、風邪の症状に似ています。**せきや微熱が2週間以上続く**場合は病院を受診しましょう。



病院ではどうやって診断や治療をするの？

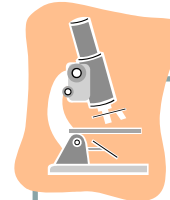


X線検査や**CT検査**
肺に結核が病巣をつ
くっているかをみます。



免疫反応

皮膚内にツベルクリン液を入れてツ
ベルクリン反応をみます。
最近ではT-spotという血液検査で、結
核に感染しているかを調べています。
※日本人はBCGを接種しているので判定が難しいです。



喀痰検査

痰(たん)を調べる検査です。
痰を顕微鏡で見たり、菌の一
部を培養したりして、菌の種
類を調べます。



基本的には薬を内服して治療します。数種類の薬を半年ほど
内服するのが標準です。薬を飲んだり飲まなかったり、自己判断
で勝手に飲むのをやめってしまうと、薬が効かないタイプの結核
(薬剤耐性結核)になり治療が難しくなる可能性がありますので
医師の指示を守りましょう。全身状態が悪い場合や症状が強い
時、あるいは周囲に感染の恐れがある時は入院での治療が必要
になります(日本では強制入院になることもあります)。
入院治療で周囲への感染の恐れがなくなれば、外来通院で治療
できます。



結核を予防するには



免疫力が低下しないように**規則正しい生活**を心がけましょう。
栄養バランスのよい食事と十分な睡眠、適度な運動などが大切です。

- ◆1年に1度は健康診断を受けましょう。
- ◆カゼのような症状が長く続くようなら、病院を受診しましょう。
※重症化や他の人への感染を防ぐため、早期発見、早期治療が重要です。
- ◆健康診断を受けているか、**2週間以上せきが続く場合はすぐに病院にかかる**、
といったことを職場でチェックしましょう。
※特に車の同乗者や運転手さんが咳をしている場合は注意して下さい。
長引くようでしたら受診を勧めましょう。

お子さんが乳幼児であれば1歳までに
BCGを接種させましょう。



職場の人が結核にかかったら

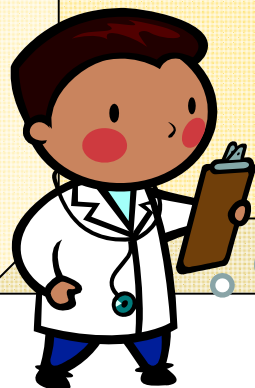
職場で結核にかかった方が排菌（咳等を通じて菌を体外に出す）していた場合は家族、友人、職場の同僚など、一日のうち長い時間を一緒に過ごした方は感染の可能性があります。

日本では保健所が中心になり、誰が感染の危険性が高いかを調べ、どの人に検診を行うかを決めます。

海外でも現地の保健所、会社の指示に従って下さい。

結核に感染しても、健康で体力があれば、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖が抑えられますので、あわてないようにしましょう。

咳、痰、微熱が2週間以上続く場合は早めに病院を受診しましょう！



**早期発見・早期治療！
あわてず、適切な対処が
必要なんだね。**